

第62回日本臨床細胞学会総会(春期大会)
令和3年6月5日(土)
幕張メッセ 国際会議場3F 304 第7会場

第8回子宮の日全国アクションー2021報告会

コロナ禍での 群馬県細胞検査士会のLOVE49活動

 群馬大学医学部附属病院 病理部・病理診断科

小野里 香織



第62回日本臨床細胞学会総会(春期大会)

COI 開示

演者名 小野里 香織

今回の演題に関して開示すべきCOIはありません

はじめに

世界的な新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大により、群馬県細胞検査士会の2020、2021年度LOVE49プロジェクトは、来場者および参加会員の安全を期し、例年の街頭活動を中止した。

啓発活動が途切れないよう、群馬県内各施設の協力により、将来の検診対象者である学生や検診世代の女性に、効果的にアプローチする機会を得たので、その内容を報告する。

さらに、高校生を対象とした子宮頸がんに関するアンケート調査を実施できたので、その結果も併せて紹介する。



: 4月9日「子宮頸がんを予防する日」LOVE49アクション

これまでの街頭活動

群馬県細胞検査士会：会員138名(男性61名、女性77名) 2021年5月現在

| 活動日 | 活動場所 | 参加人数 |
|--------------------------|--------------|----------------|
| 2012年 4月 7日 (土) | けやきウォーク前橋 | 会員 10名 協力者 4名 |
| 2013年 4月 7日 (日) | けやきウォーク前橋 | 会員 13名 協力者 3名 |
| 2014年 4月 12日 (土) | スマーク伊勢崎 | 会員 10名 協力者 3名 |
| 2015年 4月 11日 (土) | イオンモール高崎 | 会員 10名 |
| 2016年 4月 9日 (土) | けやきウォーク前橋 | 会員 12名 協力者 10名 |
| (* 2016年 11月 12日 (土) | ヤマダ電機LABI1高崎 | 会員 1名) |
| 2017年 4月 9日 (日) | けやきウォーク前橋 | 会員 12名 協力者 7名 |
| (* 2017年 11月 11-12日 (土日) | ヤマダ電機LABI1高崎 | 会員 1名) |
| 2018年 4月 8日 (日) | けやきウォーク前橋 | 会員 17名 協力者 10名 |
| (* 2018年 11月 10-11日 (土日) | ヤマダ電機LABI1高崎 | 会員 1名) |
| 2019年 4月 7日 (日) | けやきウォーク前橋 | 会員 25名 協力者 5名 |
| (* 2019年 11月 9-10日 (土日) | ヤマダ電機LABI1高崎 | 会員 1名) |

(*2016, *2017, *2018, *2019) *検査と健康展 in 群馬



2017



2018



2019



2019

8年間で、延べ155名(会員113名、協力者42名)が活動に参加



2019年度の活動

- 大型商業施設で一般市民に約1,000部配布
- 医療技術系大学の学生に約500部配布
- 検査と健康展in群馬の来場者に約300部配布



街頭活動の参加者で集合写真



検査と健康展in群馬でのPRブース



2019年度ニュースレター

活動費

合計：59,406円

〈内訳〉 活動参加費(2,000円x25人)、配布袋(生理用品試供品)3,024円、
配送費4,842円、レンタル料(ぐんまちゃん着ぐるみ)1,540円

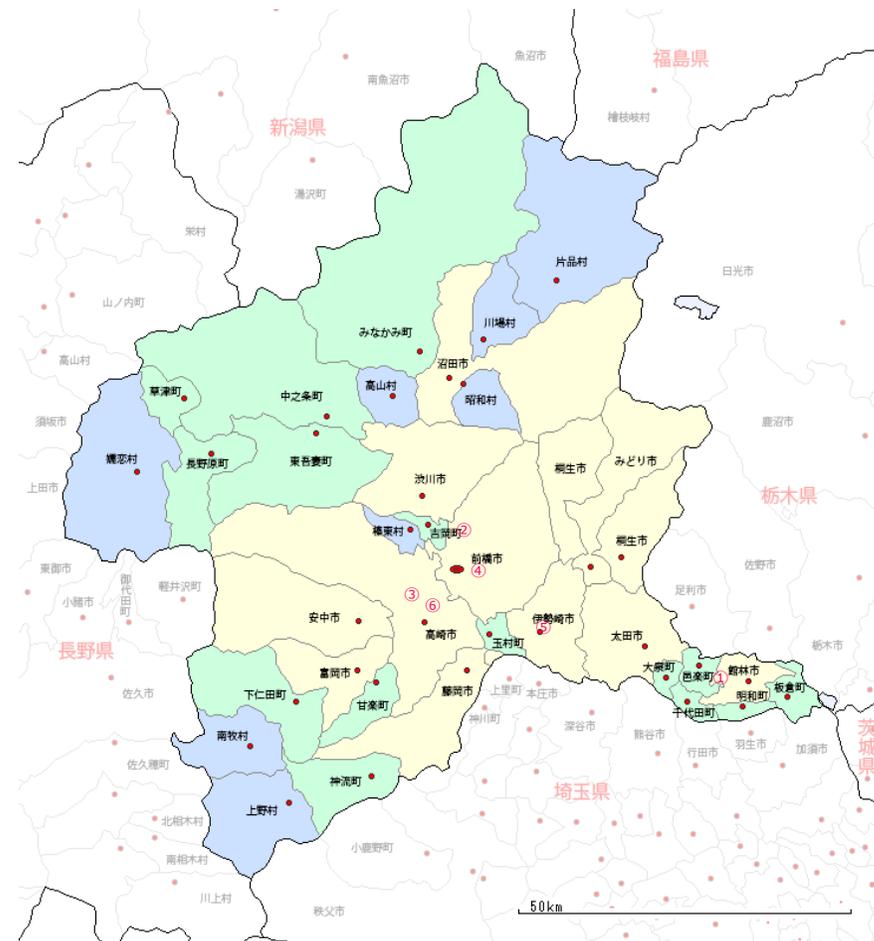


🌿 検査士会員の協力を得て、県内の施設へニュースレター等の配布を依頼

🌿 配布時期・方法等は、各施設の担当者に一任

🌿 依頼先 🌿

- ① 群馬県立館林女子高等学校：650部
- ② 群馬大学医学部保健学科：360部
- ③ 群馬パース大学保健科学部：740部
- ④ 前橋市保健センター健康増進課：200部
- ⑤ 伊勢崎市健康管理センター：370部
- ⑥ NHO高崎総合医療センター採血室：30部
(+2019年版50部)
- ⑦ その他：150部



合計：2,500部



2020年度の協力施設および新規施設へニュースレター等の配布を依頼

依頼先

- ① 群馬県立館林女子高等学校：650部
- ② 群馬大学医学部保健学科：40部
- ③ 群馬パース大学保健科学部：300部
- ④ 前橋市保健センター健康増進課：200部
- ⑤ NHO高崎総合医療センター採血室：200部
- NEW! ⑥ 堀江病院：30部
- NEW! ⑦ 利根中央病院：200部
- NEW! ⑧ 北毛病院：100部
- NEW! ⑨ 恵泉幼稚園：40部
- NEW! ⑩ 生命保険会社：120部
- ⑪ その他：120部



合計：2,000部

活動費および仕分けの様子

活動費は、子宮頸がん検診推進活動支援助成金 5 万円を各施設への配送費、梱包資材費に使用

2020年度：37,371円

2021年度：35,152円



生理用ナプキン試供品
(2種50個入り200箱、10,000個、花王株式会社)



2021年度の配布物



3月末に各協力施設に発送されました！

合計24個

2021年度の活動写真①



左：荷物届きました！（利根中央病院）
右：利根中央病院事務の皆様



袋詰め作業中です！（利根中央病院）



人間ドック受診者、若手職員に配布（堀江病院）



にっこり！（利根中央病院 検査室）



新人研修会で配布（利根中央病院）



生保レディの皆様

2021年度の活動写真②



幼稚園の職員および保護者に配布



ピアノ教室の生徒および保護者に配布



採血室受付カウンターに配置
(高崎総合医療センター)



飲食店に配置

写真はありますが・・・

- ▶ 保健師による、前橋市内の大学・専門学校等への啓発活動の一環として配布
(例年は講話があるが中止のため配布のみ)
- ▶ 市の集団検診会場にて「ご自由にお持ち帰りください」で配置etc.

各施設で工夫を凝らしている

各施設の啓発活動から・・・

今回は

高校生への
啓発活動

を詳しく紹介！



群馬県立館林女子高等学校：650部(各学年200名、教職員50名)

- 保健体育教員を紹介してもらい配布を依頼
- 群馬県細胞検査士会として初めて高校へ配布

2020年度

- 全学年に対し1学期のテスト期間中に配布
- 同時に簡単なアンケート調査を実施
- 2年生に対しリモート講演を実施

2021年度

- 1-2年生に対し保健体育の授業にて配布
(3年生は保健体育の授業がないため別の機会に配布)
- 昨年度同様のアンケート調査を依頼
- 2年生に対し講演予定

アンケート協力をお願い

子宮頸がんは、日本では働き盛り・育児中の20～30歳の若年者に増えています。皆様が知っていること、率直な意見を聞かせてください。
群馬県細胞検査士会では、このアンケートを通じて今後の子宮頸がん予防活動において正しい情報を提供するための参考にさせていただきたいと考えております。ご協力の程よろしくお願ひ致します。
なお、アンケート結果は、調査・研究等に使用する可能性がありますことをご了承ください。

～ 下記質問の該当するところに○をご記入ください ～

- あなたの学年を教えてください。
① 1年生 ② 2年生 ③ 3年生
- HPV (ヒト乳頭腫ウイルス：Human Papilloma Virus) という言葉を聞いたことがありますか？
① 聞いたことがある ② ない
- STD (性感染症：Sexually transmitted disease) の中に、HPV感染が含まれることを知っていますか？
① 知っている ② 知らない
- HPV感染が子宮頸がんの原因であることを聞いたことがありますか？
① 聞いたことがある ② ない
- あなたはHPVワクチン接種をしましたか？
① はい ② いいえ

★ワクチン接種し方にお聞きします。今後の定期検診を受けようと思いませんか？
① はい ② いいえ (理由：)

★ワクチン接種していない方にお聞きします。ワクチンと定期検診について今後どうしようと思いませんか？
① ワクチン接種、定期検診の両方をしようと思う。
② ワクチン接種はしようと思う。
③ 定期検診はしようと思う。
④ どちらもしようと思わない。
(選んだ理由：)

- 子宮頸がんやHPVについて、知りたいことがあったら自由に書いてください。
()

♡子宮頸がんの予防は、ワクチン接種、定期検診が有効です♡
ご協力ありがとうございました！

アンケート用紙

リモート講演

2年生の「女性学」の一環として1コマ講演(50分)



女性の生き方を探究する、「女性学」を開講しています。

一人一人が可能性を開花させ、人生における選択肢を広げ、社会の一員として尊厳ある人生を送れるようになるための力を身に付けること、それが館女の女性学です。(ホームページより引用)

2 学年

(ホームページより転載)

| 題材名 | 講演会 2 (オンライン) | 目標 | 講演を聴き、小野里先生が伝えたいことを理解し、自分の言葉でまとめる。 |
|-----|---|----|------------------------------------|
| テーマ | 演題：「Girls be ambitious!」 講師：小野里香織先生 (群馬大学医学部附属病院 細胞検査士) | | |

【学習内容・生徒の様子】

本時は、化学室・101 室・201 室・301 室・2-3 の5カ所に分かれて、オンラインによる講演会を行いました。まだ ICT の環境が整わず、ipad を使用し meet を利用してのオンライン講演会でした。司会は女性学実行委員の2人がパソコン室から進行する形で講演会を進めました。講演の内容は子宮頸がんを中心に、女性特有の病気に関するお話です。各教室で講演を聴きながら、真剣にメモを取る生徒の姿が印象的でした。また、先生の伝えたいことを理解しながら内容をまとめ、自分の感想や意見もまとめることができました。最後に、パソコン室にて司会者から先生へ質問することができました。講師の先生から、丁寧なお返事をいただくことができました。



講演スライドのデータは生徒に公開

いつでも見返すことができるようにした

伝えたいこと。



1. ワークライフバランス

2. 女性のからだ
人生に関わる性感染症HPV

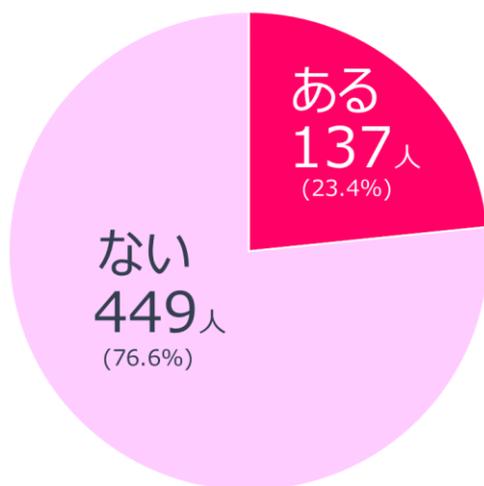
3. 魅力的な仕事
私の場合～細胞検査士～

- ▶ 女性ホルモンについて
- ▶ 月経に関連する症状・病気
- ▶ 性感染症
- ▶ HPVと子宮頸がん
- ▶ HPVワクチン接種
- ▶ 子宮頸がん検診
- ▶ 内診・検査ってどんな感じ？

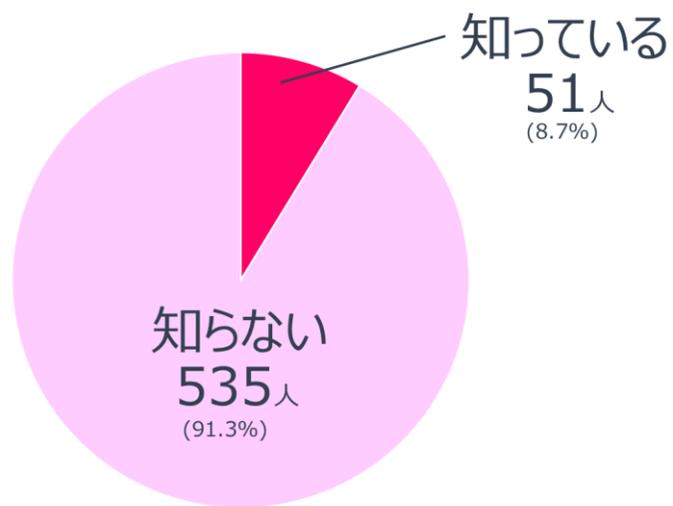
子宮頸がんに関するアンケート集計①

- 実施日：2020年 7月 22日
- 対象：1～3年生 586名
- ニュースレター配布と同時にアンケート調査実施

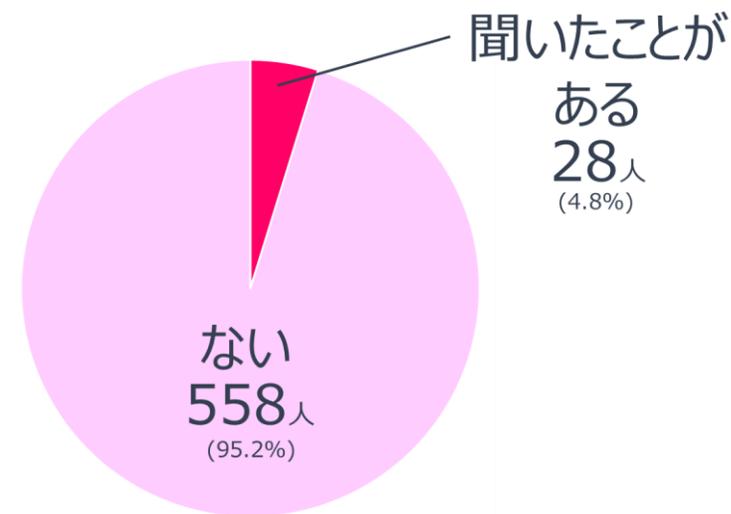
Q HPVという言葉聞いたことがありますか？



Q STDの中にHPV感染が含まれることを知っていますか？

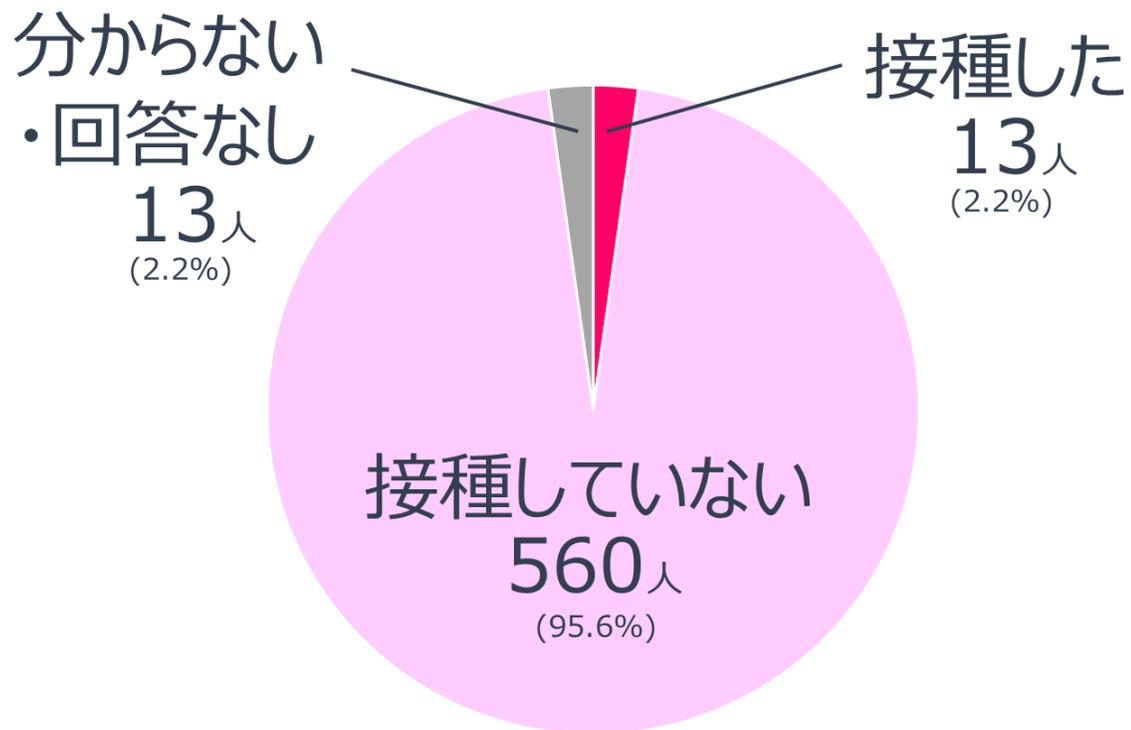


Q HPV感染が子宮頸がんの原因であることを聞いたことがありますか？



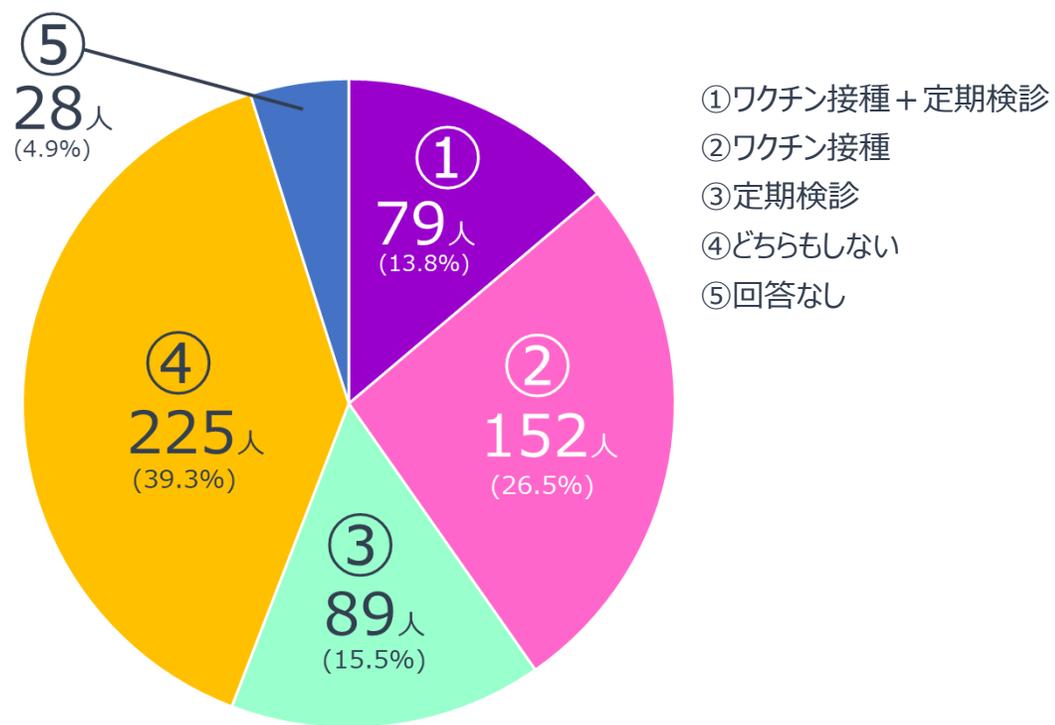
子宮頸がんに関するアンケート集計②

あなたはHPVワクチン接種をしましたか？



〈ワクチン接種をしていない人への質問〉

ワクチンと定期検診について今後どうしようと思いますか？





参考資料 1

各国のHPVワクチン接種プログラム対象女子の接種率

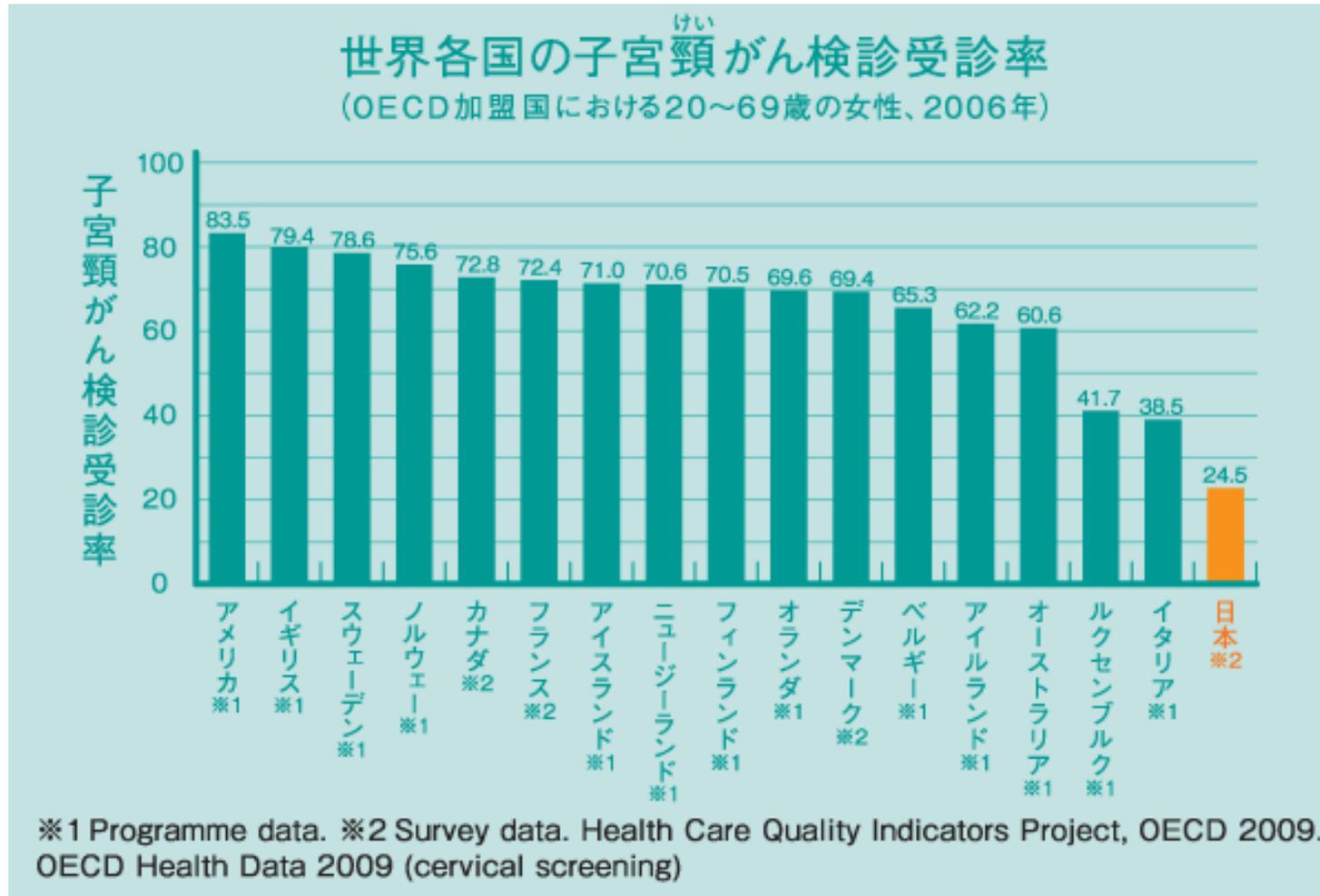


Garland SM et al. *Clin Infect Dis.* 2016; 63: 519-527. より作成
厚生労働省 定期の予防接種実施者数 より作成
<https://www.mhlw.go.jp/topics/bcg/other/5.html> (Accessed June 1, 2020)

MSD Connectより引用



参考資料 2

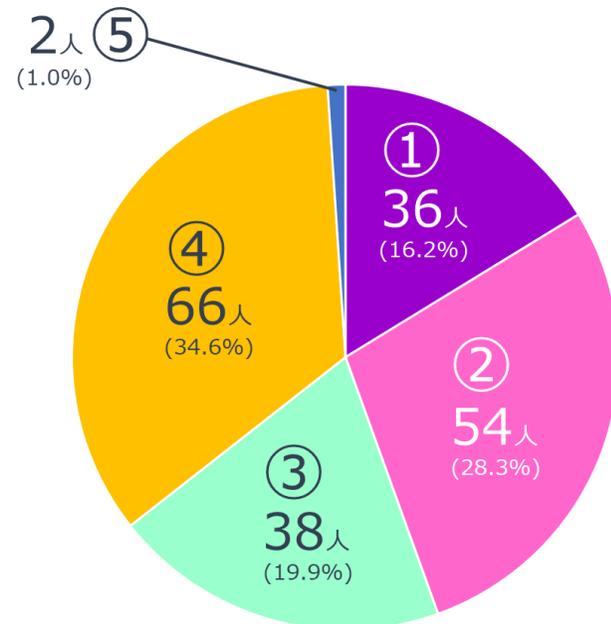


図の引用 : <http://www.shikyukeigan-yobo.jp/check.xhtml>

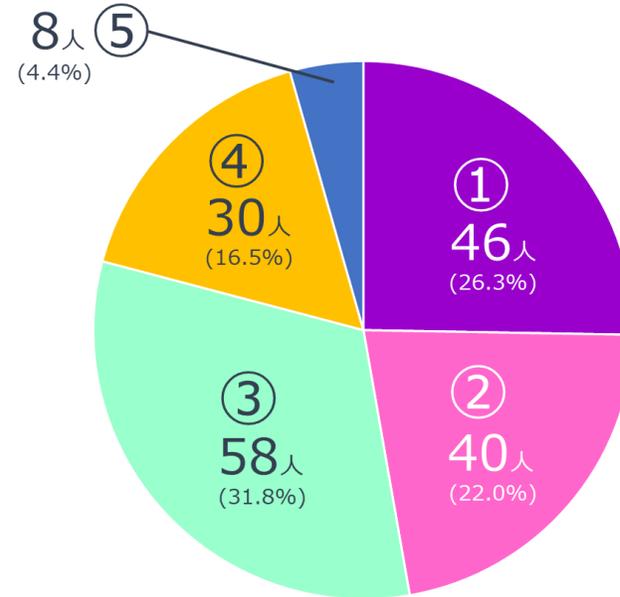
子宮頸がんに関するアンケート集計③ 講演前後の比較

- 実施日：①2020年 7月 22日 (ニュースレター配布時)
②2021年 1月 28日 (リモート講演後)
- 対象：2年生 196名 (講演後 182名)

🐼 ワクチンと定期検診について今後どうしようと思いますか？



講演前



講演後

- ① ワクチン接種 + 定期検診
- ② ワクチン接種
- ③ 定期検診
- ④ どちらもしない
- ⑤ 回答なし

講演後の変化

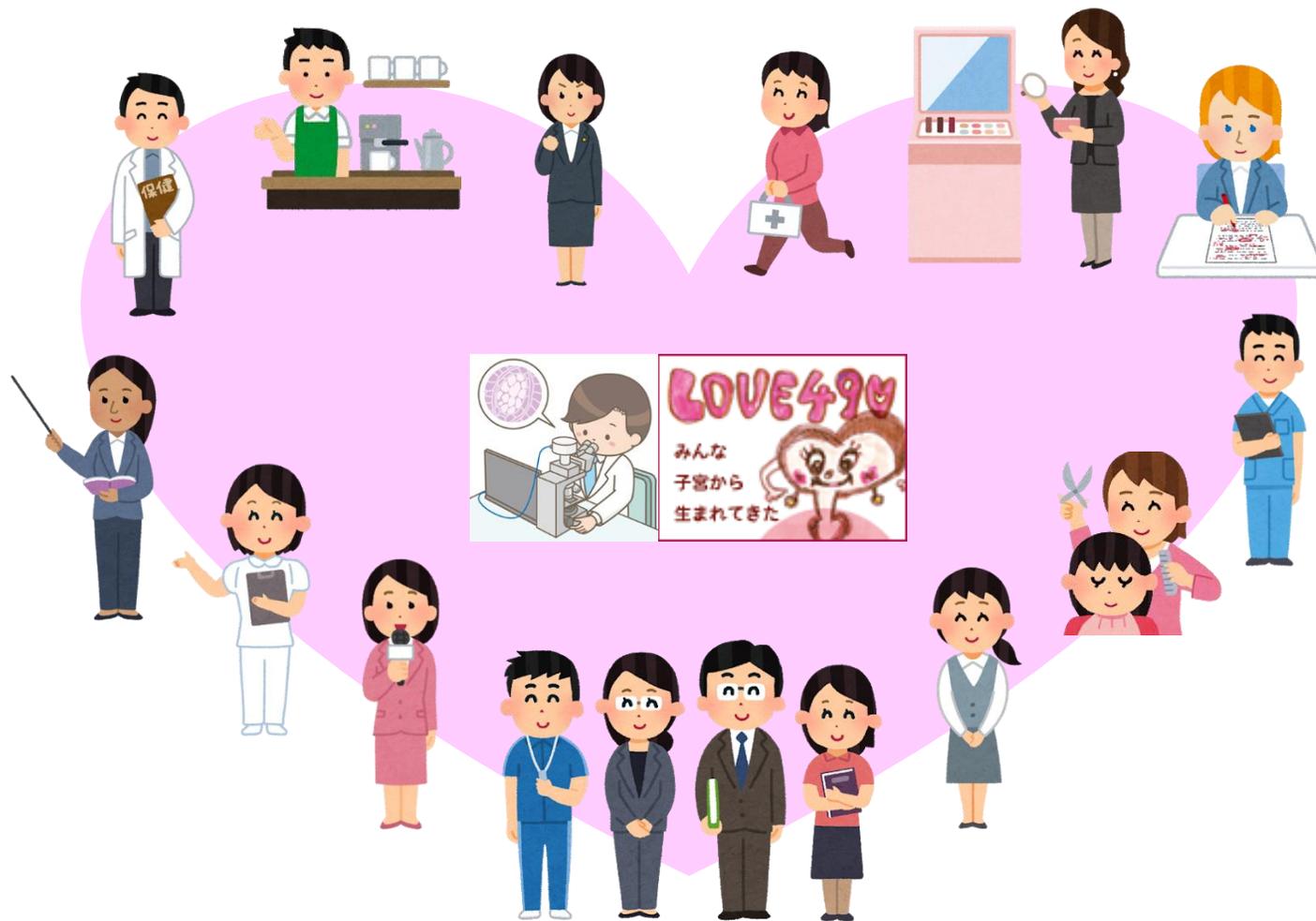
- ▶ HPVワクチン接種者が、5人から**10人**に増加
- ▶ 子宮頸がんの予防のために、
何らかの対策をしようと思った割合(① + ② + ③)
講演前：64.4% → 講演後：**80.1%**
- ▶ 対策を選んだ理由が、講演前よりシンプルになった。
- ▶ ニュースレターおよび講演により正しい情報を知り、
意識改革ができた！

まとめ

- 2020、2021年度はコロナ禍のため街頭活動ができなかったが、教員や保健師等と連携し、将来の検診対象者である学生や検診世代の女性に、ニュースレター配布によりアプローチすることができた。
- 様々な年齢層にアプローチできる街頭活動は、大切な草の根活動であるが、成果が出るには長時間を要し、実際の効果が見えにくい。
- 街頭活動に加え、HPVワクチンの定期接種対象者が小学校6年生～高校1年生相当の女子であることから、公費助成で接種できるように、中・高校生と保護者への配布および啓発活動(講演)が大切である。
- 2021年度は、幼稚園関係者や生保レディも活動の対象とした。女性が多く集う場所・サービスに繋がることで、必要な人々にメッセージが的確に届く。

今後も様々なアプローチ方法を模索し、活動を広げたい。

子宮頸がん検診をPRするには・・・



分野を越えて様々な人と繋がろう！



子宮頸がん撲滅のためには、
たゆまぬ草の根活動が必要です。
細胞診の専門職の、私たちの出番です。



最終目標は、
啓発活動がなくなること。

けい
子宮頸がんのない世界へ。

知ること、接種すること、検診することで防げる唯一のがん。



学会長の生水 真紀夫先生
座長の三宅 真司先生、今枝 義博先生
講演の機会を下さり感謝致します。

皆様、ご清聴ありがとうございました。